



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 株式会社クレハ 上場取引所 東
 コード番号 4023 URL <http://www.kureha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 数井 明生 (TEL) 03-3249-4651
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	30,795	△0.6	1,760	△26.3	2,275	4.2	1,519	25.8
25年3月期第1四半期	30,987	22.0	2,390	272.6	2,182	188.8	1,207	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,912百万円(177.1%) 25年3月期第1四半期 1,051百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	8.85	7.36
25年3月期第1四半期	7.04	7.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	207,316	98,058	46.3
25年3月期	205,284	96,211	45.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 95,962百万円 25年3月期 93,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,000	6.7	3,500	△26.8	3,800	2.3	2,300	3.5	13.39
通期	140,000	7.2	9,000	6.4	8,500	29.4	4,500	40.1	26.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期1Q	181,683,909株	25年3月期	181,683,909株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	9,884,322株	25年3月期	9,952,952株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期1Q	171,753,774株	25年3月期1Q	171,680,784株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P2
(1) 経営成績に関する説明.....	P2
(2) 財政状態に関する説明.....	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	P3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	P4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	P4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	P4
3. 四半期連結財務諸表.....	P5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	P5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	P9
(継続企業の前提に関する注記).....	P9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	P9
(セグメント情報等).....	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、金融緩和等の経済政策効果もあり一部で景気回復の兆しが見えるものの、中国、欧州での景気減速の長期化等による外需の停滞は続いており、当社を取り巻く経営環境は楽観できないものとなっております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.6%減の307億95百万円、営業利益は前年同期比26.3%減の17億60百万円、経常利益は前年同期比4.2%増の22億75百万円となりました。

四半期純利益につきましては、前年同期比25.8%増の15億19百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	前第1四半期	当第1四半期	増減	前第1四半期	当第1四半期	増減
機能製品事業	7,156	7,334	177	△2	△319	△316
化学製品事業	7,942	7,508	△433	1,788	1,307	△481
樹脂製品事業	9,847	9,676	△171	798	783	△15
建設関連事業	2,749	2,776	26	83	44	△38
その他関連事業	3,291	3,500	208	△95	36	132
消去	—	—	—	△181	△91	90
連結合計	30,987	30,795	△191	2,390	1,760	△629

①機能製品事業

機能樹脂分野では、PPS樹脂は国内、米国合弁事業共に売上は微減、ふっ化ビニリデン樹脂はリチウムイオン二次電池用バインダー用途の売上は増加となりましたが、PGA(ポリグリコール酸)樹脂の米国工場の低稼働の影響もあり、この分野の売上は増加したものの、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

炭素製品分野では、炭素繊維での需要低迷が続いたものの、特殊炭素材料での車載用リチウムイオン二次電池用負極材用途で需要の回復が見られ、この分野の売上は微増となりましたが、営業損失は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比2.5%増の73億34百万円となり、営業損失は前年同期2百万円から3億19百万円となりました。

②化学製品事業

医薬・農薬分野では、慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上は増加いたしました。農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」の売上が減少、「クレメジン」の特許権侵害訴訟の和解金収入を計上した前年同期に比べ、この分野での売上、営業利益は共に減少いたしました。

工業薬品分野では、有機薬品類の売上が増加したことにより、この分野での売上は増加いたしました。原燃料高騰の影響により、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比5.5%減の75億8百万円となり、営業利益は前年同期比26.9%減の13億7百万円となりました。

③樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」共に売上は前年同期に比べ増加し、この分野の営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

業務用食品包装材分野では、塩化ビニリデン・フィルム、多層ボトルは売上が減少し、熱収縮多層フィルムは欧州、アジアで売上が増加、この分野の営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

包装機械の売上は減少し、中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドの製品価格の下落により、営業損失が増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比1.7%減の96億76百万円となり、営業利益は前年同期比1.9%減の7億83百万円となりました。

④建設関連事業

建設事業は、前年同期に民間工事での大型物件の完工があったことにより売上げは減少し、営業損益については前年同期の営業利益から営業損失となりました。

エンジニアリング事業は、プラント建設において新規工事が増加し、売上げ、営業利益共に増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比1.0%増の27億76百万円となり、営業利益は前年同期比46.5%減の44百万円となりました。

⑤その他関連事業

運送事業は、売上げは前年同期並みとなりましたが、経費削減に努め営業利益は増加いたしました。

環境事業は、産業廃棄物処理は微増となり、又、環境関連エンジニアリング業務での大型工事があり、売上げは増加し、営業損失は減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比6.3%増の35億円となり、営業損益については前年同期95百万円の営業損失から36百万円の営業利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第1四半期末の資産の部につきましては、流動資産は、現金及び預金は減少いたしました。棚卸資産及びその他の流動資産が増加した結果、前期末に比べ4億78百万円増の686億89百万円となりました。有形固定資産は、いわき事業所での設備投資等により、前期末に比べ21億16百万円増の1,015億60百万円となりました。投資その他の資産は、投資有価証券の時価が前期末より下落したことなどにより、前期末に比べ6億49百万円減の35億17百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前期末に比べ20億31百万円増の2,073億16百万円となりました。

負債の部につきましては、有利子負債は借入金の増加等により、前期末に比べ39億16百万円増の723億65百万円となりました。賞与支給に伴う賞与引当金及び法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少などにより、負債合計は前期末に比べ1億84百万円増の1,092億58百万円となりました。

純資産の部につきましては、四半期純利益15億19百万円を計上、剰余金の配当8億58百万円を実施し、株式の評価差額金の減少、為替換算調整勘定の増加等により、純資産合計は、前期末に比べ18億47百万円増の980億58百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、ふっ化ビニリデン樹脂などの機能製品事業の拡大、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」等のグローバル展開や全社を挙げてのコストダウンに取り組み、又、PGA(ポリグリコール酸)樹脂やリチウムイオン二次電池用負極材を次世代の重点事業と位置付け、事業の立ち上げを着実に推進してまいります。なお、当社が2012年1月に発表した「中期経営計画 GROW GLOBALLY-II」の定量計画については、当年度において見直すことを予定しております。

2013年度の世界経済は、全体としては緩やかな成長が見込まれます。国内経済は輸出の持ち直しや各種政策効果により景気回復が期待され、米国経済は緩やかな景気回復基調にあります。中国経済及び欧州経済の先行きについては引き続き不透明な状況が続いております。

こうした点も踏まえ、当第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、2013年5月15日の決算発表時に公表した数値から修正しております。詳細につきましては、本日(2013年8月2日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度のグループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,954	7,356
受取手形及び売掛金	27,480	27,353
商品及び製品	18,670	18,921
仕掛品	1,730	2,583
原材料及び貯蔵品	4,918	5,340
その他	5,548	7,235
貸倒引当金	△92	△101
流動資産合計	68,210	68,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,176	33,298
機械装置及び運搬具（純額）	35,680	36,692
建設仮勘定	15,681	15,583
その他（純額）	15,905	15,986
有形固定資産合計	99,444	101,560
無形固定資産	1,463	1,548
投資その他の資産		
投資有価証券	20,241	19,012
その他	16,094	16,671
貸倒引当金	△169	△167
投資その他の資産合計	36,166	35,517
固定資産合計	137,074	138,627
資産合計	205,284	207,316

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,940	16,304
短期借入金	18,088	21,660
未払法人税等	1,899	778
賞与引当金	2,213	1,034
役員賞与引当金	70	20
その他	14,666	13,596
流動負債合計	52,877	53,395
固定負債		
社債	20,000	20,000
新株予約権付社債	15,000	15,000
長期借入金	15,359	15,705
退職給付引当金	556	424
役員退職慰労引当金	341	257
環境対策引当金	474	474
資産除去債務	797	800
その他	3,665	3,200
固定負債合計	56,195	55,863
負債合計	109,073	109,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	10,017	10,013
利益剰余金	72,614	73,274
自己株式	△4,510	△4,479
株主資本合計	90,580	91,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,636	4,840
繰延ヘッジ損益	△32	△31
為替換算調整勘定	△2,300	△114
その他の包括利益累計額合計	3,303	4,694
新株予約権	62	39
少数株主持分	2,264	2,055
純資産合計	96,211	98,058
負債純資産合計	205,284	207,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)
売上高	30,987	30,795
売上原価	22,302	22,509
売上総利益	8,685	8,286
販売費及び一般管理費	6,295	6,525
営業利益	2,390	1,760
営業外収益		
受取利息	19	14
受取配当金	313	304
持分法による投資利益	61	91
為替差益	47	503
その他	75	114
営業外収益合計	517	1,028
営業外費用		
支払利息	205	185
売上割引	101	115
設備休止期間費用	256	—
その他	161	213
営業外費用合計	724	514
経常利益	2,182	2,275
特別利益		
補助金収入	69	91
受取賠償金	26	74
その他	2	0
特別利益合計	98	166
特別損失		
固定資産除売却損	126	41
固定資産圧縮損	69	44
投資有価証券評価損	45	—
その他	5	—
特別損失合計	247	85
税金等調整前四半期純利益	2,033	2,356
法人税等	776	855
少数株主損益調整前四半期純利益	1,256	1,500
少数株主利益又は少数株主損失(△)	48	△18
四半期純利益	1,207	1,519

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,256	1,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,554	△795
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	1,237	1,979
持分法適用会社に対する持分相当額	107	226
その他の包括利益合計	△205	1,411
四半期包括利益	1,051	2,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,007	2,910
少数株主に係る四半期包括利益	43	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,156	7,942	9,847	2,749	3,291	30,987	—	30,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	401	50	211	1,701	1,597	3,962	△3,962	—
計	7,557	7,992	10,058	4,451	4,888	34,949	△3,962	30,987
セグメント利益又は 損失 (△)	△2	1,788	798	83	△95	2,571	△181	2,390

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,334	7,508	9,676	2,776	3,500	30,795	—	30,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	419	83	315	1,086	1,597	3,501	△3,501	—
計	7,753	7,592	9,991	3,862	5,097	34,297	△3,501	30,795
セグメント利益又は 損失 (△)	△319	1,307	783	44	36	1,851	△91	1,760

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。